

# 「なだいなだとフランス」

医者 哲学者 作家

Nada Y Nada et la France Médecin Philosophe Ecrivain

ユーモアと風刺に富んだ小説やエッセー、評論を半世紀近くにわたり書き続けた稀有な作家・精神科医のなだいなだ(1929~2013)が亡くなって、1年になります。

日常の身近なところから物を問いかける視点、アルコール依存治療の臨床医としての経験などから生み出されたなだいなだの著作は、混沌の中に生きる私たちにとって、ますます強い光を放っているように思われます。

なだいなだ(本名堀内秀=ほううちしげる)は1929年6月8日、東京市大森に生まれました。麻布中学、慶応義塾大学医学部を経て、1953年から1年間、パリ大学医学部に留学。帰国後、東京武蔵野病院などを経て、国立療養所久里浜病院のアルコール依存治療専門病棟に勤務。医師として病院に勤務する傍ら、多彩なジャンルでの文筆活動を展開しました。ペンネームはスペイン語で「なにもなくて、なにもない」の意。

1956年から同人誌「文藝首都」に参加。小説に「帽子を…」 「トンネル」など。1965年にエッセー「パパのおくりもの」で一躍、注目を浴びました。その後、『お医者さん』(1970、毎日出版文化賞)などの著作を次々と発表、多くの人々の共感を得ました。1988~90年、明治学院大学教授。

2003年、なだいなだはインターネット上の仮想政党「老人党」を結成し、弱者が暮らしやすい社会作りや平和を訴え、『老人党宣言』(2003)を発表。また、「こころ医者」と名乗り、多くの人が家族や、友人や、自分自身のこころの治療者になっ

## 【関連イベント】

### 高原文庫の会

#### 「家族が語る〈なだいなだにとってのフランス〉」

「パパのおくりもの」などの作品にも登場し、なだいなださんをもっとも身近に見てこられたご家族に、数々のエピソードや思い出を高原の森の中で披露していただきます。

講師:堀内由希(なだいなだ長女・フランス在住)ほか

日時:8月9日(土)14:00~ 会場:当館中庭

定員:180名 料金:2500円(ガーデンパーティ費・「なだいなだとフランス」展観覧料含む。但し、友の会会員は2000円)

### 高原の文学サロン 「なだいなださんの思い出」

講師:加賀乙彦(作家)

朗読:矢代朝子(俳優)

作家で精神科医という似た立場で、1960年代からずっとなだいなださんとお付き合いのあった加賀乙彦館長に、なださんについての思い出などを語っていただきます。また、なだ作品を俳優の矢代朝子さんに朗読していただきます。

日時:8月24日(日)14:00~ 会場:当館中庭

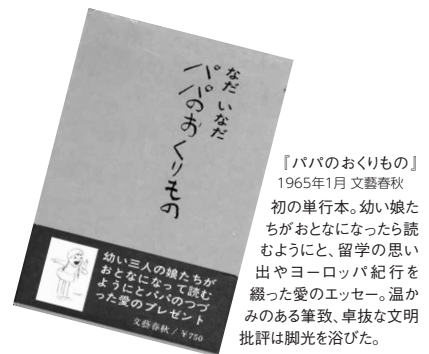
定員:180名 料金:一般1500円/学生・友の会会員1000円

※友の会会員を除き、なだいなだ展観覧には別途入館券が必要です。

※2つのイベントは要予約: Eメール(e-mail:kogenbunko@yahoo.co.jp)、FAX(0267-45-6626)でお申し込みください。〈電話(0267-45-1175)も可〉

軽井沢高原文庫 〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢湖202-3  
Tel.0267-45-1175 Fax.0267-45-6626 http://www.karuizawataliesin.com

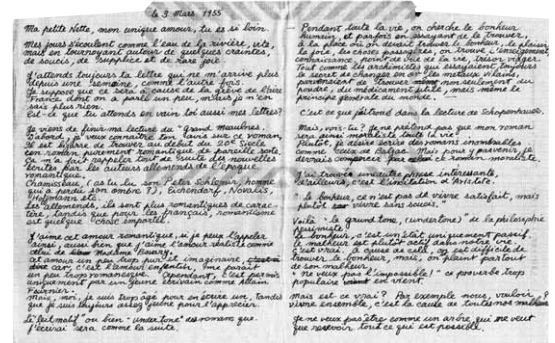
交通:JR長野新幹線・軽井沢駅、または、しなの鉄道・中軽井沢駅下車、タクシー約8分。  
上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより車で約10分。※会期中、次のバスが運行いたしますのでご利用ください。  
〈塩沢湖行き急行バス〉7月26日~9月15日「軽井沢駅北口バスターミナル①番」→「塩沢湖」下車(有料410円)  
〈町内循環バス〉通年「軽井沢駅北口バスターミナル④番」→「塩沢湖」下車(有料200円)



『常識哲学』  
2014年5月 筑摩書房  
亡くなる5日前に日仏医学会で行った講演集を収録。なだは晩年、人々の磨き上げられた「常識」こそが人間を解放すると考えていた。



フランス留学日記 1954年頃  
1953~54年にパリ大学に留学した折の日記。



堀内秀(なだいなだ)からルネ・ラガッシュ宛書簡1955年3月31日付  
2人は同年10月、結婚。

チェコを再訪、スカラ博士に再会  
1997年

なだは1963~64年、WHO留学生として2度目のヨーロッパ留学をした折、プラハでスカラ(Skala)博士と出会い、アルコール依存症の治療に関して大きな示唆を受けた。



慶応義塾大学医局の前で、北杜夫(右)と(提供:文藝春秋)



## 【夏休み特別企画】

### 「生誕100年 立原道造の世界」

会期:7月25日(金)~9月30日(火)

会場:堀辰雄1412番山荘

※見学科は高原文庫の入館料に含まれています。  
24歳8ヶ月で逝った夭折の詩人・建築家、立原道造の作品世界を堀辰雄山荘で紹介いたします。  
協力:立原道造記念会、立原道造の会

## 次回企画展

### 軽井沢ゆかりの文学を訪ねて

10月17日(金)~11月30日(日)

